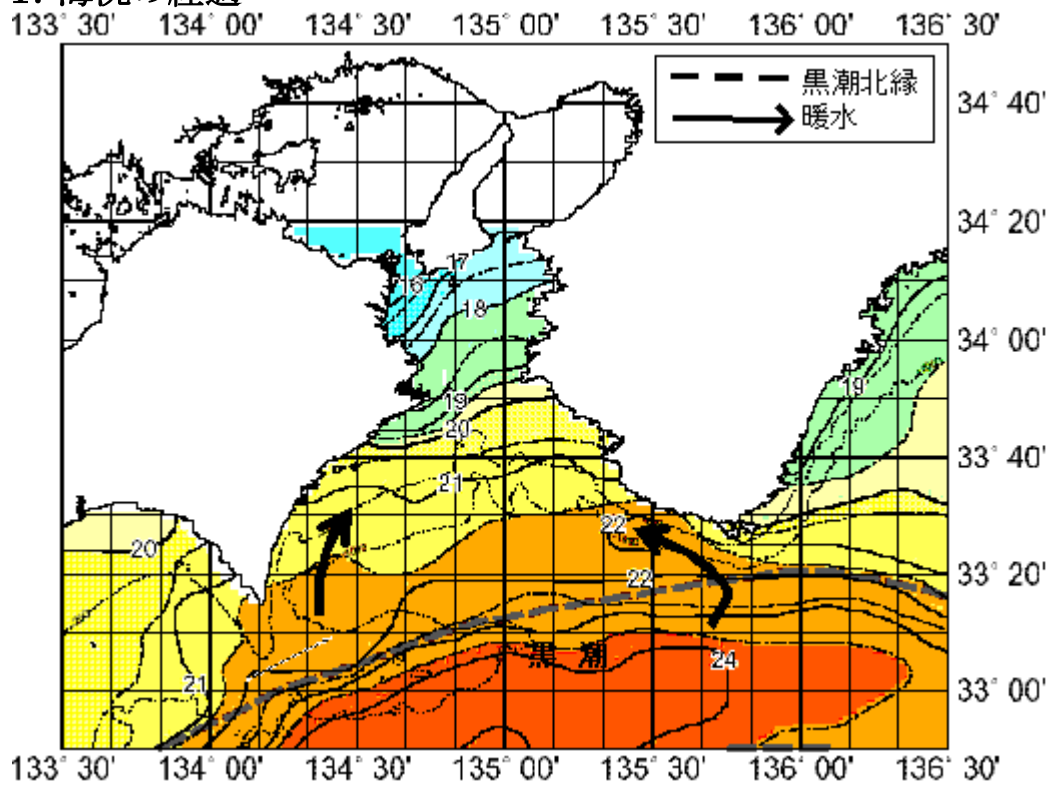


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.12.15)を示した。

黒潮は、先週以降、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。

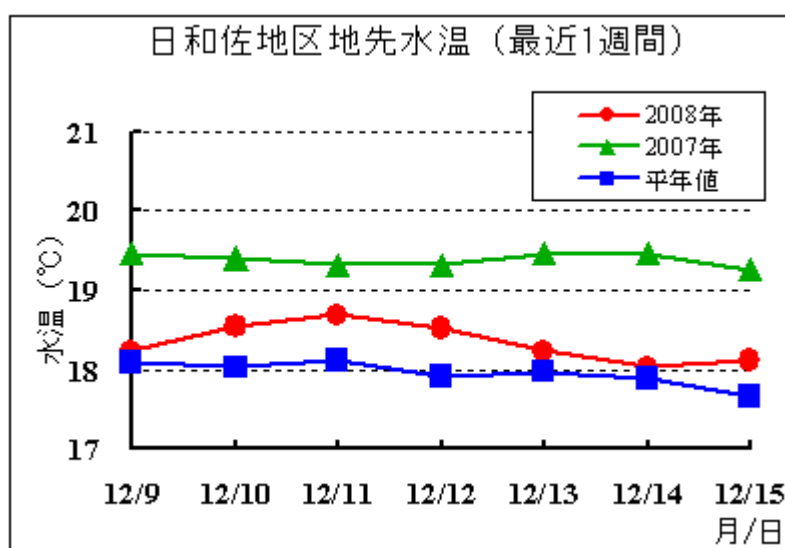
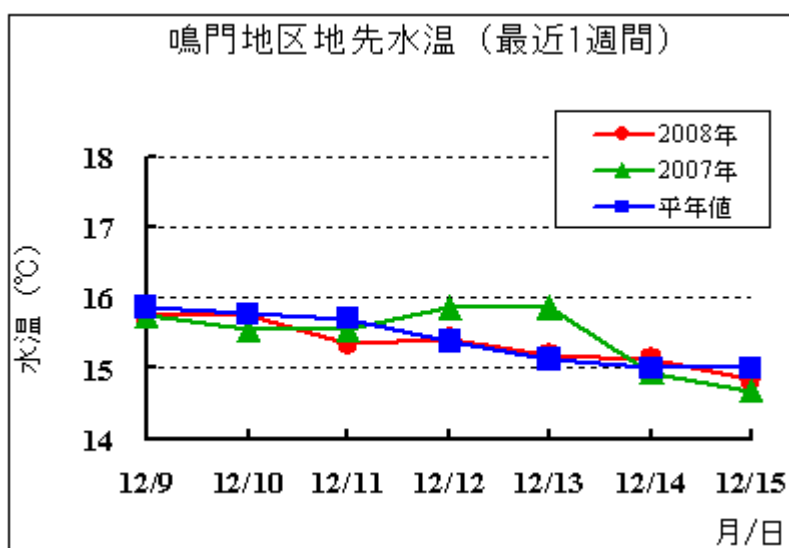
黒潮本流の表面水温は22～24℃台である。

表面水温は播磨灘が14℃台、紀伊水道が15～18℃台、外域が18～21℃台である。

紀伊水道外域は、徳島県側と和歌山県側から暖水波及がある。海部沿岸は、冷たい内海系水の南下が収まり、暖かな黒潮系水の影響を受けている。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」の14.8～15.7℃、日和佐地区は「平年並み」～「やや高め」の18.0～18.7℃、牟岐地区は「平年並み」～「やや高め」の18.3～19.2℃で推移した。



2. 漁況の経過

海部沿岸は、11日以降、黒潮系暖水の影響を受けており、アオリイカやタチウオの好漁につながったようである。パッチ網は、都合により漁獲量を収集できなかった。

延縄:海部沿岸で、大・中主体にアマダイが0.4トン(1日1隻あたり17kg)、大主体にサバフグが0.5トン(同31kg)水揚げされた。

小型定置網:海部沿岸で、アオリイカが4.2トン(同70kg)、小主体にタチウオが6.1トン(同107kg)、ヒラソウダが0.5トン(同69kg)、マルソウダが1.2トン(同18kg)、メジナが3.3トン(同478kg)水揚げされた。

大型定置網:海部沿岸で、中主体にアオリイカが1.5トン(同364kg)、大主体にカワハギ類が0.2トン(53kg)、小主体にゴマサバが1.1トン(同278kg)、小主体にタチウオが4.7トン(同1,169kg)、中主体にヒラソウダが0.7トン(同359kg)、大主体にマアジが1.1トン(同264kg)、マルソウダが0.3トン(同80kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大・中主体にアオリイカが3.6トン(同16kg)、タチウオが2.5トン(同50kg)、ハマチが8.1トン(同47kg)、特大・大主体にヨコワが0.4トン(同18kg)、紀伊水道で大主体にサワラが0.6トン(同17kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが4.4トン(同75kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 12月8日～12月14日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他
延縄	海部沿岸	アマダイ	24	414	17	大・中主体
		サバフグ	15	462	31	大主体
小型定置網		アオリイカ	59	4,153	70	
		タチウオ	57	6,116	107	小主体
		ヒラソウダ	7	482	69	
		マルソウダ	64	1,156	18	
		メジナ	7	3,344	478	
		大型定置網	アオリイカ	4	1,455	364
カワハギ類			4	213	53	大主体
ゴマサバ			4	1,113	278	小主体
タチウオ			4	4,676	1,169	小主体
ヒラソウダ			2	718	359	中主体
マアジ			4	1,055	264	大主体
マルソウダ			4	321	80	
釣り	アオリイカ	225	3,607	16	大・中主体	
	タチウオ	50	2,521	50		
	ハマチ	173	8,085	47		
	ヨコワ	21	386	18	特大・大主体	
	紀伊水道	サワラ	34	571	17	大主体

特異事項:

漁業調査船「とくしま」でクラゲ目視調査を実施したところ、紀伊水道でクラゲを発見することはできなかった。

週間予報:

黒潮は、室戸岬は接岸からやや離岸、潮岬は接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「平年並み」の14℃台、日和佐地先で「平年並み」の18℃～17℃台後半で推移する見込み。

他県情報:

和歌山県の釣りで、スルメイカが0.4トン(1日1隻あたり3kg)、イサキが0.8トン(同5kg)、パッチ網でシラスが18.7トン(同334kg)、棒受網でマアジが1.0トン(82kg)水揚げされた。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上